

64 ズグロカモメ

(チドリ目)

Saundersilarus saundersi

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク: VU

種の概要

中国東部の渤海と黄海沿岸、朝鮮半島西海岸などで繁殖し、繁殖後は中国中西部から朝鮮半島南部、日本、台湾などに渡り、越冬する。日本では主に本州、四国、九州、沖縄で越冬する。内湾や干潟、海上に生息し、カニ類、エビ類、魚類、貝類、昆虫類などの小動物や魚類の死骸などを採食する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、本州、佐渡、角島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、★高砂市、★養父市、★淡路市、たつの市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌5月に生息する。かつては稀に県南部で4-5月に1-3羽が記録される程度であり、不定期な渡来と考えられていたが、1990年前後から冬期にも定期的に記録されるようになった。2000年頃からは加古川河口やたつの市の沿岸、内陸の湖沼にも少数が渡来しているが、個体数は極めて少なく渡来地も限定されている。

保護上の留意点

加古川河口両岸のヨシ原の湿地にはズグロカモメの餌となるカニ類が生息しており、本種の餌場の確保のため、カニ類が生息できる環境を保全することが重要。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

※夏羽



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

※冬羽